

管理番号	J-31
タイトル(英語)	
タイトル(日本語)	自殺予防対策についての提言
研究者	黒澤尚
所属機関	日本医科大学精神医
言語	日本語
書誌情報	Journal of Nippon Medical School. 69(2). 120-123
論文種類	解説
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	日本
対象領域	地域
目的	自殺予防策戦略に対する提言を行う。
結果・内容・提言	①マスクミの自殺報道の自薦。②抑うつ状態の知識啓蒙。早期発見。早期治療
キーワード	

管理番号	J-32
タイトル(英語)	
タイトル(日本語)	地理情報システムを利用した地域診断に基づく地域自殺予防策に関する研究
研究者	本橋豊, 佐々木久長
所属機関	秋田大学公衆衛
言語	日本語
書誌情報	日本衛生学雑誌. 57(1). 454
論文種類	会議録
研究デザイン	cross-sectional study
統計手段	クロス集計, 因子分析
対象観察期間	
対象サンプル数	1390
サンプルの国籍(対象地域)	日本(秋田)
対象領域	地域
目的	地域住民を対象としたメンタルヘルスに関する質問紙を実施。地域におけるうつ症状とその関連要因を明らかにする。
結果・内容・提言	65歳以上の地域在住高齢者に調査を実施。うつ症状の有症率には地区差あり。小地区ごとについての症状の有症率をマッピングし、保健活動の対象地区に優先順位をつける。
キーワード	

管理番号	J-34
タイトル(英語)	
タイトル(日本語)	職場における自殺予防対策の現状に関する検討(1)
研究者	荒武優、廣尚典、亀田高志、田中克俊、鎗田圭一郎、林剛司、柱宗孝、河野慶三、荏司栄徳、川上憲人
所属機関	NKK
言語	日本語
雑誌情報	産業衛生学雑誌, 44増刊, 663
論文種類	会議録
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	日本
対象領域	職域
目的	事業場における自殺予防対策の課題を整理。
結果・内容・提言	職場のメンタルヘルス対策に関与している産業医9名、心理職6名、精神科医5名のグループで討議。①自殺予防に限定した対策はほとんど実施されておらず、実施は困難。②自殺予防に特に関連が深い対策はうつ病に対する取り組み。③アルコール関連問題対策も自殺予防対策につながる。
キーワード	

管理番号	J-33
タイトル(英語)	
タイトル(日本語)	職場における自殺予防対策の現状に関する検討(2)
研究者	廣尚典、佐藤恵美、田中美由紀、牧野純、長見まき子、北村尚人、森崎美奈子、荒井裕、中川茂昭、黒木直夫、他
所属機関	NKK
言語	日本語
雑誌情報	産業衛生学雑誌, 44増刊, 664
論文種類	会議録
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	日本
対象領域	職域
目的	事業場における自殺予防対策の課題を整理。
結果・内容・提言	職場のメンタルヘルス対策に関与している産業医9名、心理職6名、精神科医5名のグループで討議。現在実施されているメンタルヘルス対策について、細部の見直し・改善を進める余地がある。事業場外の資源の充実化が図られることも急務。
キーワード	

管理番号	J-35
タイトル(英語)	Suicide and mass media
タイトル(日本語)	自殺の危険の診断 自殺とマスメディア
研究者	吉田浩二
所属機関	富良野保健所
言語	日本語
雑誌情報	精神科診断学, 4(2), 185-193
論文種類	原著論文
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	日本
対象領域	地域
目的	自殺とマスメディアの関係をレビュー、群発自殺の発生を検討。
結果・内容・提言	行商が中心となって精神保健、公衆衛生、教育などの関係機関・報道機関が報道による自殺懸念の危険性について十分に認識し共通の理解を得るための協議の場を設け、自殺報道のあり方に関する指針を作成することが必要(手段・場所の詳しい報道を避ける、自殺防止に有効な手段があることを記事の中で強調、報道には必ず危機介入専門機関の紹介を付加)。
キーワード	mass media, suicide, suicide cluster

管理番号	J-36
タイトル(英語)	
タイトル(日本語)	北海道における自殺の実態
研究者	吉田浩二, 小林徹, 望月吉勝, 他
所属機関	北海道郵路保健所
言語	日本語
雑誌情報	日本公衆衛生雑誌, 34(4), 199-205
論文種類	原著論文
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	1972-1985
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	日本(北海道)
対象領域	地域
目的	自殺予防対策を講じるための基礎資料として自殺の実態を疫学学的に検討。
結果・内容・提言	①自殺増加に中高年男性の経済問題と二世自殺が深く関与、②過疎地域の自殺率が高く、理由は老年の病者が多い。都市部における中年男性のためのメンタルヘルスと、過疎地域における医療事情の改善が必要。
キーワード	